

## 概要

スウェーデン式サウンディング試験は、1KN（約100kg）のおもりの荷重と、回転によるロッドと土の貫入抵抗を測定し、その硬軟と地盤の締まりを判定する原位置試験です。

この試験を行うことによりNswが求められ、そこからN値、qa（長期許容支持力）、qu（一軸圧縮強度）を換算して求めることができます。

試験の際に、反力装置やそれに該当する重機が必要なく、コンパクトな試験機であるので狭いスペースでも試験ができるため、工事を止めずに試験を行える利点から広く利用されています。

宅地造成など、なだらかな現場であれば自動試験機で多くの箇所の試験をスピーディに行うことができますが、斜面や深い切り下げの下などでは人力で試験を行う必要があります。

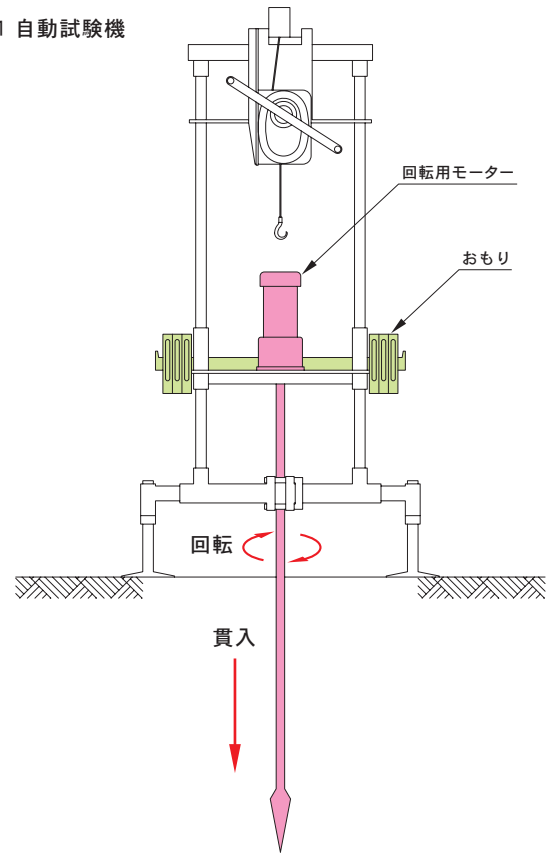
## 特徴

- 地盤から-6m付近までの地耐力が測定できる。
- 反力になるものがなく、省スペースで試験可能。
- 床付地盤までの掘削が必要なく、現地盤から試験ができる。  
(ただし、硬い層があって床付け地盤まで試験が行えないと結果を出すことができない)
- 自動試験機を使用するには、地盤が平坦である必要がある。
- 人力で試験を行う場合、作業員が最低2人必要。(自動試験機を使用する場合は作業員1人)

## ■ 自動試験機による試験



図-1 自動試験機



## ■ 人力による試験



図-2 スウェーデン式サウンディング試験機（人力による試験）

